

ミナミクロダイの種苗生産

藤本裕(仔魚飼育) 金城武光*(親魚養成と採卵) 山本隆司(餌料培養)

本事業の詳細は昭和62年度沖縄県栽培漁業センター事業報告書に記載する予定であるのでここでは要約のみを記す。

1、目的及び内容

当センターの生産目標である60万尾を生産するため、今年度はほぼ前年度に準じて種苗生産を行った。その結果約418千尾の種苗を生産し、養殖用・放流用種苗として供した。

2、成果の要約

- 1) 親魚は前年度より継続飼育(33尾)しているものに他水槽より6尾を加え合計39尾(平均尾叉長 33.39 ± 4.23 cm、平均体重 998 ± 355 g、雌雄比不明)で、産卵は2月2日に始まり5月2日に終了した。その間の水温は $18.4 \sim 23.3^{\circ}\text{C}$ で、産卵のピークは前年度同様3月であった。
- 2) 総採卵数は約1,900万粒で前年度のほぼ1/3となり、大幅に減少した。これについては、この年の冬場の水温が高めに推移し且つ春先の水温が低かったことや周年配合餌料投与による弊害が考えられた。
- 3) 今年度は、 50m^3 水槽3面(飼育水量 135m^3)を使用し種苗生産を行った結果、総生産尾数418千尾(平均全長 $16.9 \sim 17.6$ mm)、生残率16.4%(3.1~35.3)であった。

3 今後の課題

- 1) 安定した良質卵の大量採卵
- 2) 投餌作業の省力化